

と叩きつけた
同市中央区の中学1年松浦琉成さん(13)は「亡くなつてさみしいです」。献花台には、園に寄せられた花や果物が供えられた。
(上田勇紀)

高校生が考える グローバル化

4校参加し公開討論

西宮

兵庫県と大阪府の4校の高校生が、グローバル化する世界で求められる教育を考える公開討論会が26日、西宮市の関西学院大西宮上ヶ原キャンパスで開かれ

た。生徒らは途上国の歴史を調べた成果を発表し、世界で役割を果たすために何を学ぶべきかを議論した。「グローバル化する世界で生きていく君に問う」を



テーマに、関学大が企画した。文部科学省のスーパーグローバルハイスクール

(SGH)に指定される関学高等部(西宮市)▽長田高校(神戸市長田区)▽関学千里国際高等部(大阪府箕面市)▽大阪府立北野高校(大阪市淀川区)の生徒が参加した。

長田高の生徒は中米のホンジュラスについて報告し、米国のコントロールされ、米国の政情不安定な「バナナ共和国」と紹介した。市場の自由化で米企業が進出した結果、効率優先で労働環境が悪くなり、貧困や治安の悪化を招いたとも指摘。「企業は社会的責任を負う必要があるし、消費者もこうした背景を知るべき

だ」と訴えた。4校の生徒は調査内容を説明した後、グローバルな人材を育成できる教育をテーマに討論。「知識を詰め込む教育ではなく、能動的に学ぶ環境が必要」「知識を得た上で討論する機会がほしい」など意見交換した。
(初鹿野俊)

高校生が考える 地域貢献

討論会で意義確認

神戸

福祉活動部部長の阿部夕佳さん(17)は2年が「地域貢献と言うと大きな事と感じる」と投げ掛けると、